市長と語る！地区懇談会
みんなでつくる おびひろの健康

携帯電話は、電源を切るか、マナーモードに設定願います。

皆さんは
平均より歩いていると
思いますか？

全国平均

男性 7,779歩

女性 6,776歩

歩いている地域ランキング

単位：歩／日

	男性			女性	
1位	大阪府	8,762歩	1位	神奈川県	7,795歩
2位	静岡県	8,676歩	2位	京都府	7,524歩
3位	奈良県	8,631歩	3位	広島県	7,357歩
4位	東京都	8,611歩	4位	滋賀県	7,292歩
5位	京都府	8,572歩	5位	東京都	7,250歩
...	...		...	...	
24位	北海道	7,381歩	40位	北海道	6,051歩

平成28年度 国民健康・栄養調査報告

歩数と健康の関係

1日あたりの「歩数」と「予防できる病気」(抜粋)

2000歩 寝たきり

4000歩 うつ病

5000歩 認知症、心疾患、脳卒中

8000歩 高血圧症、糖尿病など

出典: 中之条研究(東京都健康長寿医療センター研究所 青柳幸利氏)

帯広市民は糖尿病が多い

糖尿病の割合 (HbA1cの値が基準値を超えている人)

HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)
過去1~2か月の血糖値の状態を示す値

出典: 帯広市国民健康保険特定健康診査
北海道国保連合会特定健康診査

人生100年時代
健康でいられる時間を
延ばす必要がある

こんな生活送っていませんか？

間食が多い

歩ける距離でも車を使う

野菜を食べない

休みの日は寝てばかり

長期間
つづけると

生活習慣病

理想的な 5つの生活習慣

1. 禁煙

禁煙期間	健康上の変化(メリット)
2週間～3か月	肺の機能が高まる
1年	心疾患のリスクが喫煙者の半分になる
5年	脳卒中のリスクが非喫煙者と同じになる
10年	肺がんのリスクが喫煙者の半分に低下 その他のがんのリスクも低下

喫煙者を減らすための取り組み

市と企業が連携した禁煙啓発イベントの様子

2. 節酒

毎日お酒を飲む場合は、
以下のいずれかの量までにとどめましょう

日本酒なら
1合まで

ビールなら
600mlまで

ワインなら
ボトル1/3程度まで

健康診断結果に基づいた指導

市の健康相談の様子

3. 食生活

- ・減塩する
- ・野菜と果物を摂る

4. 適正体重の維持

男性16万人

女性19万人

5. 適度な運動

からだスツキリ講座の様子

帯広市の健康づくり事業

誰でも簡単にできる、ご当地体操「オビロビ」

それでは、実際に
運動してみましよう！

オビロビさん

ク

イ

ズ

Q. 日本人のがん死亡者
数はアメリカ人の何倍？

① 0.4倍

② 1.2倍

③ 1.6倍

A. ③ 1.6倍

Q. 約60年の間で
乳がんで亡くなった人は
何倍になった？

① 2.5倍

② 4.7倍

③ 6.2倍

A. ③ 6. 2倍

Q. 32%

A. がんで亡くなった 帯広市民の割合

出典：平成28年度版 十勝地域保健情報年報

(最新値)

帯広市民は全国と比較しても がんの死亡率が高い

(H18~H27)

がんの SMR

全国平均の
死亡率を100
として比較

出典：北海道健康づくり財団「北海道における主要死因の概要」

身近な病気「がん」

日本人の

2人に1人が

生涯に何らかのがんを発症

身近にひそむがんの要因

喫煙
受動喫煙

飲酒

運動不足

肥満

塩分摂取

野菜・果物
摂取不足

ウイルス
感染

日本人の男性のがんの約**5**割、

女性のがんの約**3**割は

生活習慣や**感染**によるもの

生活習慣の改善でがん予防

実践した健康習慣の数によるリスク割合

早期発見と早期治療がカギ

早期なら多くのがんは

9割以上が治る

帯広市のがん検診

検診名	検診内容
胃がん検診	胃部X線検査
	胃内視鏡検査
肺がん検診	胸部X線検査
結核検診	胸部X線検査
大腸がん検診	便潜血検査
前立腺がん検診	血液検査
子宮がん検診	子宮頸部検査
乳がん検診	マンモグラフィ検査
肝炎ウイルス検診	血液検査

Pink Ribbon in おびひろ

Pink Ribbon in おびひろ 団結式の様子

帯広市がん対策推進条例

がん
患者

教育
関係者

行政

事業者

議会

保健医療
福祉関係者

これまではそれぞれの取り組みを実施

帯広市がん対策推進条例

これからは一体となって実施

がんになっても安心して 暮らすことができるまち

がん検診
を受ける

がんについて
学ぶ

がんの人の
話を聴く

生活習慣を
見直す

自分のできることから始めることが、
きっと誰かの役に立つ

誰もが健康で、
安心して暮らせるまちを
共につくっていきましょう